



元気っ子

No.214 ながさわ保育園

平成 27 年 6 月号

園長 市川 温 予

新入園児も在園児も新しい環境にすっかり馴染み、生活の流れも理解し、自分から行動したり、お友達と一緒に笑いあったりと園全体が落ち着いてきました。

子ども達は、日に日にぐんぐん伸びる若芽のようにすごいエネルギーが湧き上がってきているように感じます。園庭やお散歩とお天気の良い日は戸外で楽しそうに遊んでいます。これから本格的に活動開始なのでしょう。

園庭では一人ひとりが好きな遊びを見つけ、夢中になっています。「**夢中こそ最善**」、私はこの言葉が大好きなのですが、とにかく子ども時代には時間を忘れて夢中になって遊びこんでほしいと思います。一日夢中になって遊び、エネルギーをいっぱい、いっぱい使い、疲れ果てて寝る。また次の日はエネルギーが湧き上がってきて夢中になって遊ぶ。この繰り返しです。そのためには、大人が子ども達一人ひとりのエネルギーを発散できるようないい環境を用意してあげることがとても大切だと思っています。保育園は友達と仲良くしたり、ケンカをしたり、生身の人間同士がいろいろな実体験をしながら生きる場です。楽しかった、おもしろかったと思えるような園生活であってほしいと思います。楽しい子ども時代を過ごすということが生きる力をつけるということなのです。

5月19日から22日まで、鈴峰中学校の2年生4名が職場体験に来てくれました。最初はお互いに緊張していましたが、だんだん慣れてくると子ども達も「お姉ちゃん、〇〇してよ」とうまく関わっていました。また、最終日には生徒さんの得意なことをみんなの前で披露してもらったのですが、リコーダーを聴かせてもらったり、ダンスを一緒にしたりととても楽しい時間でした。こうやってお互いにいろんな世代の人と関わることは人間関係のトレーニングになり、これから生きていく上でとっても大事なことだと思います。



急激な気温の変化で気管支の弱い小さい子ども達は、体調を崩しがちです。これからの時期はいろんな感染症もでてくると思いますので、ご家庭でも朝の健康観察をしっかりとお願いいたします。